

03 | ワークショップ事前受取

一般的なメリット

- **お客様:** 予定時間内に車両を検索します。
- **販売代理店:** 整備士の生産性を高めます（作業あたり5~10分、部品デスクでの待機無し）。部品不足を避け、車両が使えない時間を短縮するため、予め部品を注文します。

対象となる主な部門: 部品担当者、整備士。

1 部品の可用性チェック

- ワークショップの予約に基づいて、ワークショップ入庫の2日前に部品担当者は以下を行います。
 - 作業に必要な部品の一覧を作成し、続いて個客ファイル（予約受付の時点で作成）に転記します。
 - 部品の有無をチェックし、必要に応じて注文します。
 - 部品一覧をフォルダに集め、部品在庫リストから削除します。
- 翌日の予約に関して、部品の可用性を確認したかどうか、部品担当者は新規予約をチェックします。

2 事前手配した部品

- 作業の24~48時間前、部品担当者は以下を行います。
 - ピッキング伝票と一緒に、注文番号を示したボックスに部品を入れます。
 - トレイ毎に作業日（日および週）を明示します。
- 翌日の予約に関して、同一原則に基づいて未照合の部品を準備します。

3 整備士が利用する部品トレイ

- 作業に応じて準備した、部品トレイは以下のようになります。
 - ワークショップのアクセス可能な専用棚を、整備士が利用できるようにします。または、
 - 整備士に運び、作業場の専用エリアを設けます。
- 予約がキャンセルになった場合、部品を在庫に戻し、ピッキング伝票をキャンセルします。

4 作業後、トレイを倉庫カウンターに戻し、使用しなかった部品は在庫に戻す